



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 49

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 49. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1956, 49: 33-38

ISSUE DATE:

1956-10-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186821>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 49

1956. 9月(10月 4日)

録 事

秋の行楽シーズンに入ったので、観光客の数もしたいにふえ始めた。夏とちがって秋は会社や商店等のリクリエーションによる団体が多い傾向がみられる。

千天つづきであった夏にひきかえ、9月に入ってから9日の台風12号と26日の台風15号が大量の雨をもたらし、水不足は一応解消したがはっきりしない天気が続き秋らしくない。

UNESCO国内委員会の委託調査研究が今秋から、実験所を中心とする紀州周辺海域の海洋生産力の調査をテーマとして大々的に実施されることに決めたので、早くも滝廣博士(ヒザラガイ類専攻)、瀬川宗吉博士(海藻専攻)、阿部宗明博士(魚類専攻)等が相次いで来白され、10~11月にかけて来白予定の学者も多く、その応接に暇がなくなるであろう。

9月16日より4日間 近藤館員と業務上の参考のため島羽水族館へ出向させた。

かねてより予定していたアクアラング及びその附属品一式を購入した。昨年購入したエアーコンプレッサーと共にまず一通りの材料採集設備がととのったので、水族館の設備に一偉力を添えたことになる。

今月号より経理項目の順序及び書き方を改正した。

業 務 概 況

◎ 9月の観覧者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	4575	46422	7549	82139	12074	128511
小 人	169	5103	106	3012	275	8115
団 体	8084	62649	—	—	8084	62649
合 計	12828	114174	7655	85151	20483	199325
無料入場者	京都市記念動物園取員				33	608

団 体：一般 107組，学生 3組 計 110組

◎ 9月の事業収入

			(今年度累計)
観 覧 券 売 上 金	377,152	3626,834	
予 金・積 立 金 利 子	—	49,082	
雑 収 入	100	10,180	
計	377,252	3686,096	

◎ 9月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	63,877	417,212	
会 議 費	—	62,227	
備 品 費	177,120	177,220	コンフォレストアー アクリラング及びアクリラング一式購入
消 耗 費	6,295	51,043	
事 業 費	41,388	236,586	
維 持 費	2,030	54,165	
其 他 諸 経 費	2,090	111,923	
積 立 金	65,057	617,663	
合 計	357,857	1728,039	

実験所経費

費目	金額	累計	備考
研究費	—	40,000	
奨学金	5,000	30,000	
備品費	2,880	13,280	原色海藻図鑑3部購入
刊行費	261,000	261,000	Publ. 5巻2号発行
合計	268,880	344,280	

博物館経費

費目	金額	累計	備考
人件費	5,400	33,860	
備品費	—	8,500	
消耗費	—	1.12	
合計	5,400	42,472	

臨時費

摘要	金額	累計	備考
ホルヘドライト新設	105,000	367,120	
合計	105,000	367,120	

支出合計

水族館経費	357,857	(今年度累計) 1,728,039
実験所経費	268,880	344,280
博物館経費	5,400	42,472
臨時費	105,000	367,120
計	737,137	2,481,911

◎ 9月末日現在高

前月からの繰越	1,667,254
今月の収入合計	377,252
今月の支出合計	737,137
現在高	1,307,369

◎ 前年度との比較

	1955	1956	増減
入場者数	17862	20483	+ 2621
売上金	336,378	377,152	+ 40,774
支出金	345,730	737,137	+ 391,407

水族館記事

- ◎ 12号・15号台風の影響を受け、うねりのために海水取入口が水面にあらわれて十分な海水の補給が出来なかったり、雨量が多かったので水槽内の塩分が下つたりして、それに弱い甲殻类等が死亡したけれども、魚の方は先づ不足のない入りであつた。
- ◎ 長らくその珍姿を賞ばれていた、タツノオトシゴの一種オウミウマが2日に遂に死亡した。
- ◎ 12日イトヒキアジ2匹が入槽したが翌日惜しくも死亡した。
- ◎ 21日アオリイカ5匹が入槽したが台風の影響で27日に全滅した。この日同じくゴブゼミエビ、オトヒメエビ、カザミ等の甲殻类等も少数死亡した。
- ◎ 1日アカウミガメの仔約40匹を権賀氏よりゆづり受けた。
- ◎ 15日アミメノコギリガザミの大きな♀を1匹、新庄の太公望より購入した。
- ◎ 22日ゴイシウミヘビ2匹入槽。
- ◎ 23日モンガラカワハギ1匹、29日珍しいイソモンガラと思われるもの1匹入槽した。
- ◎ 25日ツノダシ、カサゴ各1匹を布施・原田両氏が三枚刺網で捕獲入槽した。
- ◎ 29日ポリプの大きいヒダベリサンゴ(珍跡)(*Euphyllia fimbriata*)が網にかかつて採れた。

博物館記事

- ◎ 26日の台風下の大雨で階下展示室の中央部の一部より雨漏り多くなり、屋根の葺きかえが是非必要である。また水族館でも玄關のびび割れがひどくなって、雨のたびに毎に口が広がって見苦しい。はりばての木造建築はこれだから長続きがしない。

資 料

- ◎ 9月の気象

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数 (15)	7	4	4
気 温 (C°)	$\frac{26.9 \sim 28.8}{27.7}$	$\frac{26.7 \sim 27.4}{27.1}$	$\frac{21.4 \sim 22.4}{21.9}$
水 温 (C°)	$\frac{22.3 \sim 27.0}{24.3}$	$\frac{25.0 \sim 27.0}{25.7}$	$\frac{18.9 \sim 22.0}{21.0}$
比 重	$\frac{20.7 \sim 27.3}{23.1}$	$\frac{23.4 \sim 26.0}{24.9}$	$\frac{10.9 \sim 22.6}{19.7}$

但し { 気温 1は南水槽室
水温 1はNo. 25水槽
比重 } で9時測定

来 訪 録

9月5日 新潟県三島郡寺泊町助役 藤田子男氏他4名が水族館視察。

9月8日、10日、12日の3日間に亘り京都市記念博物館長 岡田貞嗣氏、星野技術課長他 31人の取組が見学。

9月19日 東京水族館員 竹腰宏氏が来館。

正 誤 表

- No. 46 (6月)の P. 16 水族館経費の内訳人件費累計金額 203,481は230,481の誤り
- 全 上 P. 17の支出累計 326,019は 1,249,523 の誤り
- No. 47 (7月)の P. 23の支出累計 189,529は 1,439,052 の誤り
- No. 48 (8月)の P. 26 ~ P. 30は P. 27 ~ P. 31に改正
- 全 上 改正頁ナンバー29の支出累計 305,722は 1,744,774に改める

昭和31年10月4日発行

(No. 49)

編集兼

発行人

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸臨海実験所振興会

和歌山県 白浜町

瀬戸臨海実験所内

(Tel. 白浜温泉 515)